

授業科目 地域作業療法学

【担当教員名】 能村友紀	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

地域リハビリテーションの理念を理解し、地域作業療法の役割、多職種協業のあり方について習得する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 地域リハビリテーションの理念、役割、システムの概要を述べるができる。
2. 地域作業療法に関わる多職種の役割と作業療法との関わりについて説明できる。
3. 生活障害の捉えかた、生活の構造的側面について述べるができる。
4. 地域作業療法における評価について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	地域リハビリテーションの理念、役割、システム	1	講義、討論 (能村)
2	地域作業療法に関連する諸制度	1	講義 (能村)
3	ケアマネジメント	2	講義、討論 (能村)
4	地域における多職種協働	2	講義、演習 (能村)
5	生活障害、生活の構造的側面の捉え方	3	講義、演習 (能村)
6	地域作業療法における評価	4	講義、演習 (能村)
7	地域作業療法における指導・援助法	4	講義、演習 (能村)

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	小川恵子編：地域作業療法学. 医学書院. 2005.			
参考書	大田仁史編：地域リハビリテーション論 Ver3. 三輪書店 寺山久美子編：（社）日本作業療法士協会・監修：地域作業療法学（OT学全書別巻）. 協同医書出版. 2005.			
その他の資料	日本作業療法士協会：作業療法マニュアル在宅訪問の作業療法一. 2003. 浅海奈津美、守口恭子：老年期の作業療法. 三輪書店. 2003.			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席点 10% レポート点 20% 期末テスト 70%	1. 地域ケア体系は激変期にある。情報をネット・新聞・TVから常に収集すること。 2. 保健・医療・福祉は在宅ケアへと大きくシフトしている。具体的な例を自分の実習地または居住地で調べ、作業療法指導・援助の実態を見学しレポートを提出する。